

磐城時報

福島縣石城郡平町編四十四
印刷部 加納屋町十四
編輯部 加納屋町十四
電話 二二二二
印刷部 加納屋町十四
電話 二二二二
印刷部 加納屋町十四
電話 二二二二

八十名の青年團 揃ひの浴衣で奉仕

盛賑を豫想される

縣社子歛會神社祭典

平町會召集

花時の平町に於て賑はひの絶頂を期待されてゐる縣社子歛會神社祭典は十七日、十八日の兩日執行されるが、去月來當番町委員がその準備に忙殺されてゐる十七日には午前十時縣の供進使參向、翌町役員參列の上祭典を執行し、十八日には午前九時紺屋町青年團員八十名が揃ひの浴衣を着て神輿に奉仕し渡御する筈で、行列には全町青年團、稚兒が供奉する筈である。尚ほ二日間共縣社境内に於て林正夫、櫻庭子一行の舞踊樂劇、大花火、レコードコンサート等の余興があり盛賑を豫想されてゐる。

磐城礦で陸上競技

石城郡内郷村磐城炭礦体育會陸上競技部では五月上旬頃日本大日開共縣社境内に於て林正夫、櫻庭子一行の舞踊樂劇、大花火、レコードコンサート等の余興があり盛賑を豫想されてゐる。

失業者救済のため 四倉海岸埋立

二万圓で五月に着工

四倉町では昭和八年度の失業者救済事業として目下修築中の四倉海岸埋立に沿ふ四千二百坪の砂漠を埋立てる事となつたが、豫算二萬圓で五月に着工の豫定である。

四倉校遠足

四倉小學 平町西洋料理業組合では役員を

洋食組合役員

の責任は茨城縣側の責任と認め

左の如く決定した。

組合長金子福藏、副組合長森川泰一郎、幹事佐藤傳次郎、袖傳次、三浦彦一、箕輪爲吉、會計半谷政喜

江名消防組

檢閲豫習

石城郡江名消防組では十九日平町で執行される聯合消防檢閲のため十八日大宇永崎海岸で豫習を行ふ。

問題の九面トンネル 二十日から改修

工費一萬九千余圓

石城郡勿來町から茨城縣に通ずる縣道の九面トンネルは工費一萬九千餘圓を以ていよいよ二十日から開鑿工事に着手することとなつたが、同トンネルは延長二十五米で内部の水成岩が龜裂した個所あり、現在の道巾四メートルのものを開鑿後は八メートルとし、トンネルの前後を通じ百五十メートルを改修する筈で本年末までには完成の豫定である。尚同トンネルは既報の如く岩石崩壊し勿來町直吉妻安田さくえ(三四)同長女かつえ(二二)の兩名が慘死した最近の事件すらあつた外同トンネルは從來もしばしば崩壊し、負傷者を出した事があるが、崩壊の責任は茨城縣側の責任と認め

小田部署長

十三日會で講演

平十三日會は十三日午後七時からマルトモホールに開き平警察署長小田部秀雄氏の「不良少年」について講演がある。

大鳥居竣工

江名町に於て本年厄年に當る人々は既報の如く百圓を據金して同町諏訪神社に大鳥居を建てたる事となり工事中であつたが十二日落成除幕式を行つた。

平の花便り

平町松ヶ岡、新川端の花便りはく目下準備を急いでゐる。初漁は本月下旬頃と見られてゐる。

デフテリア發生

平町字紺屋町加藤賢治(六)及北白銀町三八橋本ミヨ子(三三)はデフテリアと決定した。

四倉生死亡

四倉町に於ける三月中の出生、死亡、婚姻の如し
出生男二七人女二八人計五十五人、死亡男三人女四人計七人、婚姻五組

本年鯉の初漁は 本月下旬頃か

準備萬端を整へて 磐城丸の報告を待つ

小名濱水産試験場磐城丸は既報の如く鯉漁期を控へ目下横濱港に在り、町では団体客には特に便宜を圖るべく大童となつて準備を進めてゐる。

十五日石城郡町村長會

七日縣社子歛會神社祭典、十九日平署管内消防檢閲、二十日優良納稅組合表彰、二十二日縣下青年團總會、二十三日縣下女子青年團總會。

土木委員會

平町土木委員會は十三日午前十時開會、觀櫻會の對策に關し左の件を協議した。

公園臨時賣店補缺の件

賣店販賣物品の價格統一に關する件、花季中土木委員取締り出務の件。

貯金狀況

平郵便局に七年度の各種郵便貯金取扱高は、預入口數六萬六千五百九十四圓四十九錢、拂戻し二萬四千六百九十二圓二錢、これを照從弟にあたる小林喜作に預けて和六年度に比較すると預入口數において八千三百九十七圓金額は二十一萬六千四百五十六圓二十六錢といふ大激減を示し、反いが旅費がなくて困つてゐる對に拂戻しは口數五百七十四圓の減少であるが、金額は七萬八千四百七十八圓八錢の増加となつて

花の平町に 催さる、諸會合

今年氣温低く例年になく春が當開花を見るものと見られ賣店遅れ縣下に懸する平町松ヶ岡公なども出揃つて公園を散策する園の櫻花も四、五日遅れ折角の入足も毎日に増し花見氣分をそ花電燈裝飾も蕾を照す淋しさをうけて来た。花季中の判明しあるが、十一日から天候が恢復た會合は左の如し、此外十四日對に拂戻しは口數五百七十四圓の減少であるが、金額は七萬八千四百七十八圓八錢の増加となつて

花時の打合せ

平町土木委員會は十三日午前十時開會、觀櫻會の對策に關し左の件を協議した。

旅費を哀願

十一日午前十時平警察署へ兩足がなく義足をつけた一名のルンペンが旅費を哀願して來たので事情を聞くに新潟縣北蒲原郡龜代村大字龜塚本定三郎(三十一)とて數年前から石城郡内郷村御所木賃宿會津屋方に止宿し東子行商をなし百餘圓の貯蓄が万四千六百九十二圓二錢九出たので貯金の意味で郷里の萬九千四百三十三錢で、これを照從弟にあたる小林喜作に預けて和六年度に比較すると預入口數において八千三百九十七圓金額は二十一萬六千四百五十六圓二十六錢といふ大激減を示し、反いが旅費がなくて困つてゐる對に拂戻しは口數五百七十四圓の減少であるが、金額は七萬八千四百七十八圓八錢の増加となつて

る。この原因は何と言つても一般經濟界の深刻なる不況によるものであるが、一面昨年十月から實施された郵貯利率引下も少からず影響し現に比較的有利と見られてゐる据置貯金でさい近來は著るしい拂戻しを見てゐる。

木炭組合で 滞納整理

濱三郡木炭同業組合では組合員の賦課金滞納整理については少からず頭を悩ましてゐたが現在職員を以つてしてはさうい整理の進捗を見る事が出来ないので窮餘の一策を案じた結果十六名の検査員を總動員して片端から整理することに決し來る十六日これが協議をなすべく検査員會を平町團體事務所を開くことになつた。

旅費を哀願

十一日午前十時平警察署へ兩足がなく義足をつけた一名のルンペンが旅費を哀願して來たので事情を聞くに新潟縣北蒲原郡龜代村大字龜塚本定三郎(三十一)とて數年前から石城郡内郷村御所木賃宿會津屋方に止宿し東子行商をなし百餘圓の貯蓄が万四千六百九十二圓二錢九出たので貯金の意味で郷里の萬九千四百三十三錢で、これを照從弟にあたる小林喜作に預けて和六年度に比較すると預入口數において八千三百九十七圓金額は二十一萬六千四百五十六圓二十六錢といふ大激減を示し、反いが旅費がなくて困つてゐる對に拂戻しは口數五百七十四圓の減少であるが、金額は七萬八千四百七十八圓八錢の増加となつて

川部養蠶組合 表彰方申請

平蠶業取締支所では縣からの通牒に基づき管内における優良養蠶實行組合の實際調査をなした結果模範的の定評ある石城郡川部組合の表彰方を申請したが、同組合は澤渡村字鹿野に事務所を置き鹿野、金山、宿各部落の同業者を以て大正六年四月川部蠶業組合として創立以來逐年好成績を上げ、昭和五年大日本蠶糸會より表彰されたことあり。翌年

廣告

元四倉製絲所建家及諸機械類賣却ス
御希望の方は四月十二日より四月二十四日までに當所へ申込相成渡候

- 一、建家 八百坪
- 一、汽罐 貳基
- 一、鐵管 六千尺
- 一、モートル 貳個
- 一、ポンプ 壹個
- 一、インジン 壹臺
- 一、製絲機具 百人取
- 一、赤煉瓦 壹萬枚
- 一、銅及ホ一金 貳百貫

鈴木万五郎

川部養蠶實行組合と改稱今日に至つたもので、現在組合員三十五名、基本金三千圓を有し創立以來五代の組合長指導の下に現在七名の理事を置き、組合員桑園二十六町歩、養蠶戸數百七十戸、地區内桑園四十五町歩、養蠶戸數九十戸、人口四百五十人のため蠶種貯藏庫、備青所の各倉庫一棟、購入物品配給所、稚蠶桑園三段五畝、桑園用噴霧器蠶室用噴霧器、煉炭製造器二臺

を備へ桑苗は各自家用として昨年は五千本を自給し、自給肥料の増産に資すべく一昨年堆肥製造講習會を開催し、昨年は十五萬貫を製造した。

石城地方

煙草賣上高

水戸專賣局平出張所管内における煙草の七年度賣上高は五十七萬七千圓で、管内の人口十六萬六千餘人に割當れば老人から赤子に至るまで一人一ヶ年の煙に於て平均は三圓九錢九厘であるが、主要町村の分は左の如くで最も多いのは平町の五圓三十四錢、少いのが双葉郡大久村の七十九錢である。

平町五圓三十四錢、小名濱町四圓八十三錢、四倉町四圓十三錢、江名町三圓九十三錢、石片村三圓八十五錢、湯本町三圓四十三錢、好間村三圓十六錢、内郷村三圓十四錢、久之濱町二圓九十二錢、永戸村一圓四十一錢、大浦村一圓三十六錢、鹿島村一圓二十九錢、渡邊村一圓〇八錢、大久村七十九錢

印刷物 は……加納活版所へ

櫻花の期節になりました

お花見には是非 米好の折詰を

時節柄價格低廉
奉仕的大勉強

米好

四倉町新舞子通り
電話十九番(呼出)

通學生用革靴

ボックス編上靴(中等學生用)……5.00ヨリ
同 短靴(女學生用)……4.50ヨリ
同 サンダル(小學生用)……1.00ヨリ
他ゴム靴各種取揃テアリマス

平四丁目 菊地靴店

腸胃 専門科
腸十二指腸病 胃性病
内科 婦人病 皮膚病

痔瘻 専門科
痔瘻 皮膚病

松村 腸胃科醫院
【番七〇一話電】町南町平

櫻花の期節になりました

お花見には是非 米好の折詰を

時節柄價格低廉
奉仕的大勉強

米好

平町一丁目
電話一四一番

最高級飲料
ユニオンビール
金線サイター

平町田町
特約店 永山酒店
電話二〇七番

平看護婦會

會長 清野キヨ
平町字南町【電話三〇七番】

謹啓 母ハル儀永々病氣之處療養相不叶本日午後四時死去仕候間此段御通知申上候
追而送葬之儀ハ四月十四日午後二時自宅出棺天理教會墓地ニ納骨可仕候
昭和八年四月十日
石城郡平町新田町一四
小齊五郎

御會葬御禮

鈴木長三郎

木炭代用この上のない經濟の
徳用ヒシ印 豆炭
壹袋正五貫目入金八十錢也
御注文次第御届ケ致シマス

南町(電話六六三番)
磐崎屋酒店
一丁目(電話五九六番)
菅本武雄商店
白銀町(電話二九九番)
水野水室
六丁目
矢吹石炭商店

平驛前(電話三七七番)
阿部石炭商店
◎特約店募集致します。